

港湾整備(施設提供)事業 実施状況説明資料

・南港東地区国際物流ターミナル整備事業

平成26年10月

港湾局

1. 施策の位置づけ

■大阪市の全体計画の中での位置づけ

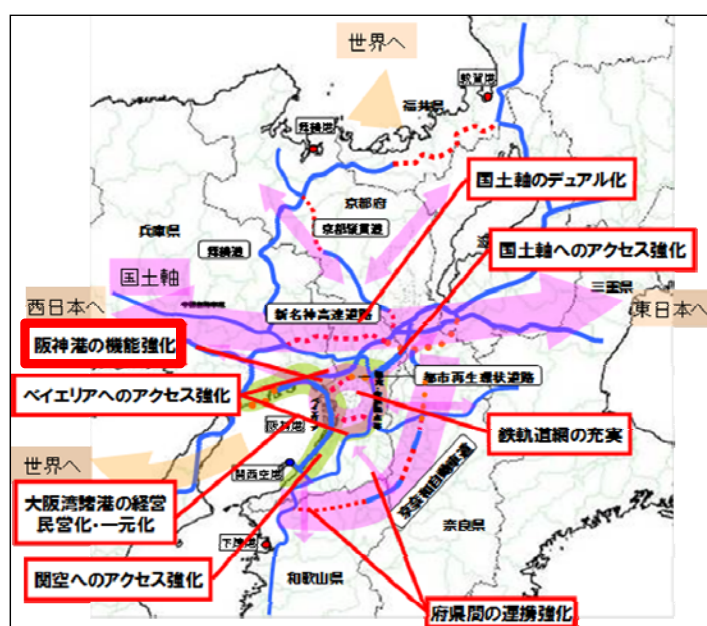
○グランドデザイン・大阪(H24.6)(抜粋)

「国際コンテナ戦略港湾」として国に選定された「阪神港（大阪港・神戸港）」では、西日本の産業と国際物流を支えるゲートポートとして、機能強化を図る。

■平成26年度港湾局運営方針

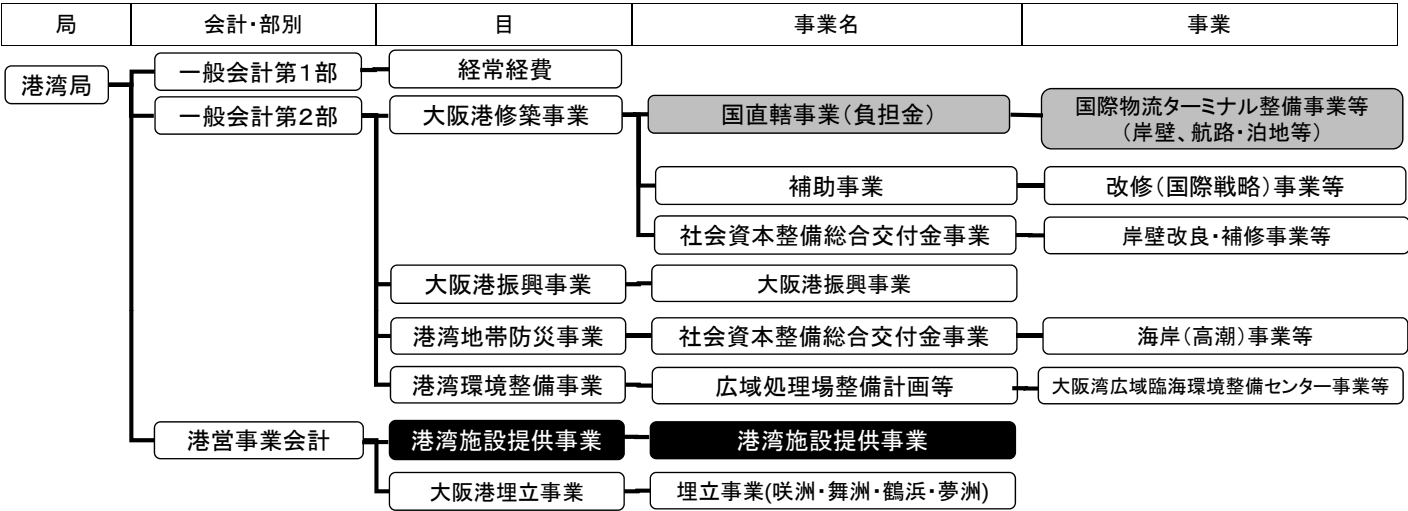
○局運営の基本的な考え方(抜粋)

日本の産業の国際競争力の低下や海外流出を防ぐための方策として港湾の国際競争力の強化が欠かせないことから、産業を支える物流インフラとして「港湾」の国際競争力の強化にむけた取り組みを進めていく。



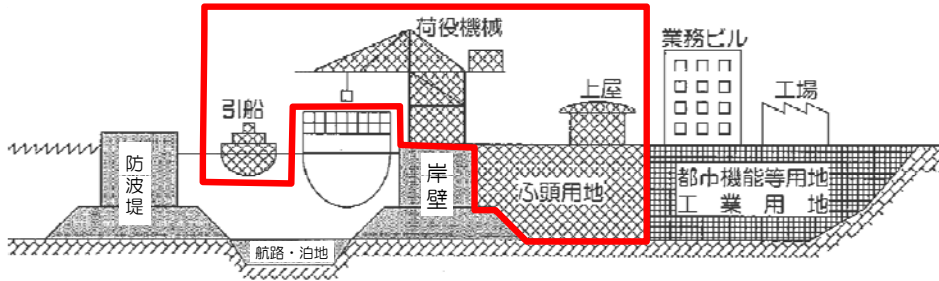
※「グランドデザイン・大阪」(詳細版)より抜粋

2. 港湾局事業の体系



■港湾施設提供事業とは

貨物の積卸・荷捌きを行うため、岸壁と一体となって機能する埠頭用地や荷役機械、上屋等を整備し、使用料収入で起債を償還する事業である。



■事業費の推移

直近10年間では、南港東地区国際物流ターミナル事業の埠頭用地の造成のほか、夢洲C12荷捌地の取得、既設上屋のアスベスト対策、荷役機械の老朽化対策等を行っている。

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (見込)
上屋倉庫整備費 (上屋・荷捌地等)	96,125	264,303	1,470,214	1,265,181	174,126	311,166	962,779	360,532	835,829	506,000
荷役機械整備費 (クレーン等)	0	217,000	200,000	28,000	100,084	94,962	1,875	0	54,345	0
引船整備費	0	0	0	0	84	2,962	915	0	324	0
施設提供事業 (建設改良費)合計	96,125	481,303	1,670,214	1,293,181	274,294	409,090	965,569	360,532	890,498	506,000

